

# 「文化庁 AFF(ARTS for the future!) 審査の遅れ」の影響調査 調査報告

報告・作成: 演劇緊急支援プロジェクト  
2021年11月17日

回答数: 303

対象: 文化庁 AFF(ARTS for the future!)、一次募集・二次募集申請団体

実施期間: 2021年11月12日(金)18:00-11月16日(火)24:00

調査主体: 演劇緊急支援プロジェクト

[engekikinkyushien@gmail.com](mailto:engekikinkyushien@gmail.com)

\* 調査報告については、演劇緊急支援プロジェクト web サイトで、11月18日(木)に発表予定。

<https://www.engekikinkyushien.info>

## 報告

「公演などを中止・延期」は回答の半数以上が、「規模を縮小した」も40パーセントを超え、ほぼ全ての回答が何らかの形で当初の計画通り事業が進まなかったと答えている。

また、それ以外にも「実施・規模の判断を迷っている」は40パーセント以上が、はい、と答え、採択の可否、連絡の時期が、事業そのものに与える影響の大きさが現れた。

「支払いの目処が立たない」は半数に登り、「主催持ち出しの負債」は4分の1が発生したとしている。その結果「来年度や今後の事業計画」に支障が生じた団体も32%を数える。

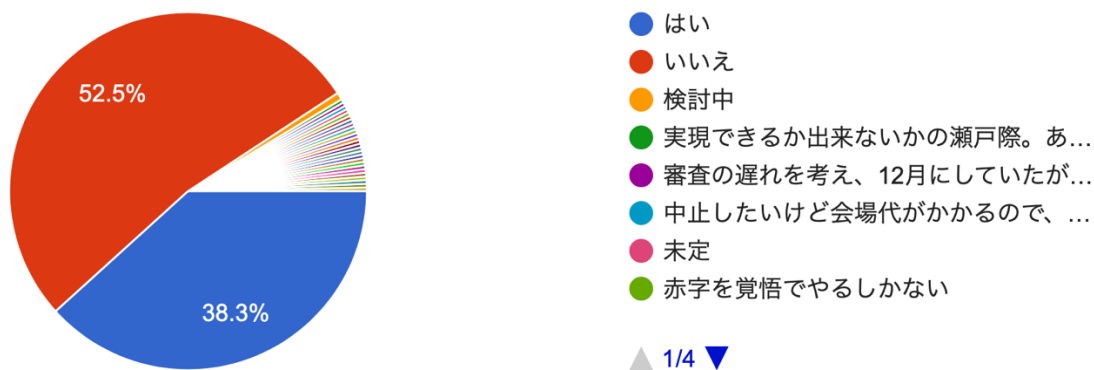
「不備の連絡後の再修正への連絡」がひと月以上かかった、など「事務局、コールセンターの対応に不満」も、58%の人が感じている。

「特に問題はない」と答えた人は、13%に過ぎなかった。

短期間にも関わらず、多くの方の回答を得ることができた。ひとえに、AFFへの期待と不安が大きいゆえであると思われる。そして、調査の結果、多くの団体が、今現在、事業の実施について困難、困惑する状況にあることがはっきりとした。

### 1) 公演などを中止・延期した

1) 公演などを中止・延期した  
303件の回答



\* はい、いいえ、以外の回答から

まだ延期ではないが、そうなりそう

まだ分からないが、審査の状況次第では今後検討する可能性あり

延期も視野にいれている

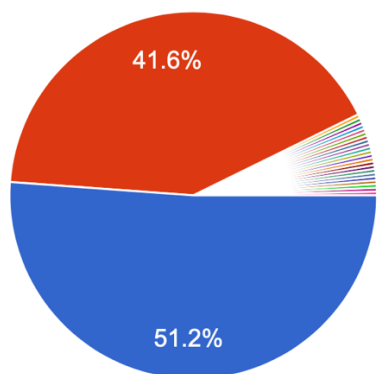
延期を検討しています(採用通知が届いたばかりで現在調整中です)

去年から計画していた新作で、AFF の前から上演準備は進んでいたため、中止や延期はあり得ない公演でした。
計画変更した
検討中
検討中
見切り発進をしている
公演期間中に後半のステージを中止にした。
採択された場合のみ公演する予定
採択されました
実現できるか出来ないかの瀬戸際。あるいは規模の大幅な縮小可能
実施したが、完全に赤字であった(客席半数のため
審査が遅くなるだろうと見込んで、開催済みの取組みしか申請できず
審査の遅れを考え、12月にしていたが、全く動き出せない
審査の通知が遅すぎてまだ決められていない
正確には公演準備期間を考慮して、中止判断を下した2週間後に交付通知が届いた。
赤字を覚悟でやるしかない
赤字前提で実施した
中止したいけど会場代がかかるので、どうしたら良いかわからない。
中止の判断を迫られている
日程を短縮して開催した
不交付となったので中止しました。
未定
ぎりぎりまで待ってます
とにかく、やろう。どんなやり方でも。と心に決めて進みました
2次での採択となったので全てが厳しい。

## 2) 公演などの規模を縮小した

### 2) 公演などの規模を縮小した

303 件の回答



- はい
- いいえ
- 上でも答えてますが、中止となりました
- 縮小可能性あり
- 仮予約のままストップ
- 公演規模は維持したが、収録の規模縮小
- 会場代があるのでどうしたら良いのか
- やる場合縮小することになりそうです

▲ 1/3 ▼

#### \* はい、いいえ、以外の回答から

ホールを変えた
まだ分からないが、審査の状況次第では今後検討する可能性あり
やる場合縮小することになりそうです
仮予約のままストップ
会場代があるのでどうしたら良いのかわからない。
危険回避の為、今まで行った事がない積極的な取り組みの一部を変更して2次へ申請した。
規模の決定が遅れることで、制作物のプランと発注が間に合わず断念した演出がある
検討中
公演規模は維持したが、収録の規模縮小、かかる費用を圧縮した
公演二週目に入ってやっと採択の連絡が来て胸をなでおろしました
縮小でなく中止。
縮小を検討中
縮小を検討中です
縮小可能性あり
上でも答えてますが、中止となりました。
審査が遅くなるだろうと見込んで、11月12月の舞台は開催に踏み切らなかった
内容を変更した
不交付通知が来る前は規模を縮小して開催する予定でした。

変更申請中

危険回避の為、今まで行った事がない積極的な取り組みの一部を変更して2次へ申請した。

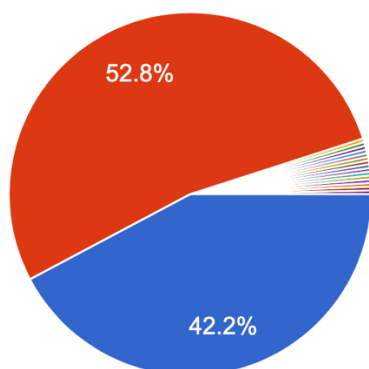
採否通知を待っている間に、予定していた会場(仮予約不可)が埋まってしまい、また、音楽や映像の製作が間に合わないため、当初予定から大幅に規模を縮小した計画を検討しております。

なお、11月いっぱいまでに採択の通知が届かない場合は中止の判断をせざるを得ません。

### 3) 公演の実施・規模の判断がいまだつきかねている

#### 3) 公演の実施・規模の判断がいまだつきかねている

303件の回答



- はい
- いいえ
- 実施はするつもりだが、交通費を削減...
- 収録規模をどれくらい縮小するか、判...
- 採択はされたが規模感の変更を余儀な...
- 会場代を支払わなくてはならない。
- やるしかないのでもやるけど会員に負担...
- 一次で落ちたので二次では過去の緊急...

▲ 1/3 ▼

#### \* はい、いいえ、以外の回答から

ギャラなし！で行こうと決めました。俳優スタッフに頭を下げまくって

そもそも稽古が出来ない

ただ、採択のタイミングが遅く、進行が遅れています

もう、公演いたしました。

やるしかないのでもやるけど会員に負担を強いる

一次で落ちたので二次では過去の緊急事態宣言下での中止公演のみ申請中

会場代を支払わなくてはならない。

公演を行った後で決定がきたので...

採択はされたが規模感の変更を余儀なくされている
採択前提で催事を行う団体には2次申請はギャンブルに等しいと思う。
実施はするつもりだが、交通費を削減せざるを得ない。(新幹線→高速バス)
実施は決定して、準備も進めていますが、お支払い金額の確定を待っていただいている状況です。
収録規模をどれくらい縮小するか、判断できていない
美術発注の期限ぎりぎりまで採択が来た。ほっとしているが、それを過ぎた場合、美術発注がおいつかない。小劇場の公演なので対応できたが、もしも300人以上の劇場だったら、追い詰められた。
採択前提で催事を行う団体には2次申請はギャンブルに等しいと思う。
補助金ありきの実行予算を組んだため、不採択で実施した場合は赤字となります。そのため採否通知待ちの状況です。

#### 4) 公演などは実施済みだが、支払いの目処が立たない

##### 4) 公演などは実施済みだが、支払いの目処が立たない

303件の回答



##### \* はい、いいえ、以外の回答から

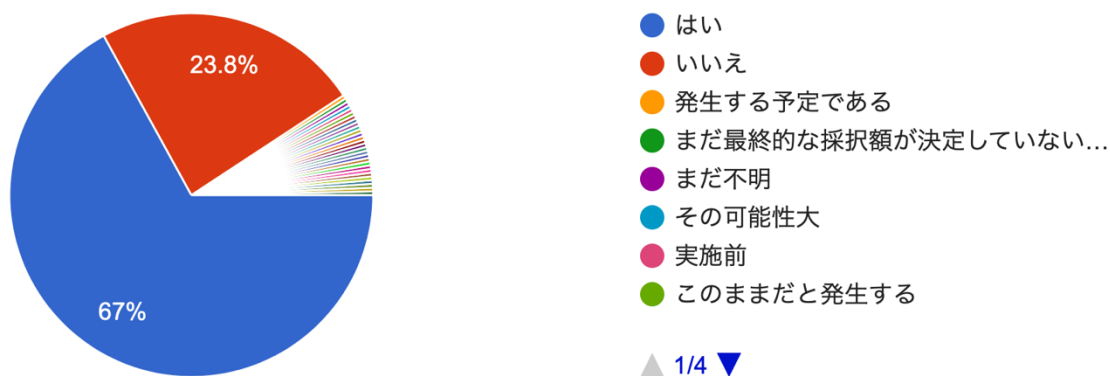
まだやっていない
まだ実施してない
開催直前まで採択の連絡を待って連絡を頂けず短縮して実施したが、結果大きな負債を負った。採択を期待している。
概算払いがあることを前提に計画していたのに、二次募集では概算払いがなく、梯子を外された。たとえ、2、3割でもあるべきだ。一次と二次とで条件を変えるのがおかしい。
概算払いが行われておらず、支払いが困難

公演これからだけど目処立たない。
公演日は 12/16-
支払いが来年に持ち越されるので、仮払いが必要。
支払いはしたが、次回公演の資金から回しているため、次の公演の支払いの目処が立たなくなっている。
実施済みではないため、回答できない。
実施前
申請の有無により、金額を検討したい
他の方へのギャランティは遅れないよう、お金を借りて支払った
未開催
未実施
2次は概算払いがないので団体の資金が足りない場合、清算まで主催者の建て替えになるのではないかな。

## 5) 主催者持ち出しの負債が発生した

### 5) 主催者持ち出しの負債が発生した

303 件の回答



\* はい、いいえ、以外の回答から

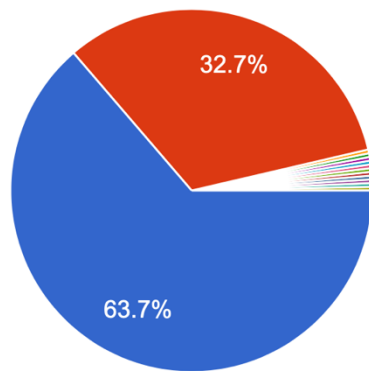
未定
不採択になれば、負債が発生する
発生する予定である

発生する見込みが高い
発生してるし、払えない。
発生しそうです。
二次から概算払いがないとわかり緊急事態。公演がこれからだがどうしたものかと頭が痛い
調整中
知らされていない
全員から負担を強いている。不採択になったら何のための補助金かわからない
先払いゆえの負債発生
審査の遅れのため公演を実施するか否かの判断がつかない。強行して採択されなかった場合は多額の負債が発生する。
主催者持ち出しの負債が発生する団体も多々あると思う。
主催者がギャラリーをおさえたまま、判断にいたらないので仮押さえが続いている
実施前
採択されなければ持ち出しの負債が発生します。
公演は終了したが、結果がわからないために関係各位に支払いを待ってもらって、先に支払いが必要なものはメンバーが立て替えている。
現状、わからない
現在、進行中の企画のため、未定だが、最終決定が遅れたことにより、予算が増大。結果的には負債になりそうな見込み。
会場キャンセルで、ご時世なので会場費は無料扱いになったが、管理人件費は支払うことになった。
一時的には主催者が立て替えている経費があります
まだ不明
まだ実施していないので、不明です。
まだ最終的な採択額が決定していないが、夫妻が出る可能性大。
主催者持ち出しの負債が発生する団体も多々あると思う。
AFF が通らなければ、当然負債は発生していました。ギャラ以外でも費用はかさみます
審査の遅れに伴い、予定していた規模からの変更を余儀なくされたため、計画変更に係る打ち合わせや事務費用、別アーティストへの打診、別会場の下見費用など、持ち出し負債が発生しております。

## 6) 来年度や今後の上演などの計画に支障が生じた

### 6) 来年度や今後の上演などの計画に支障が生じた

303 件の回答



- はい
- いいえ
- まだ不明
- 負債を負った場合は来年度以降に支障...
- 前払いがないのは本当に困ります。
- 他のアーティストをいれられない
- もし助成金がないのであれば、障...
- 審査の遅さや採択基準のあいまいさ、...

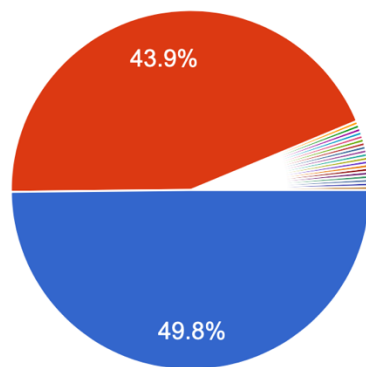
▲ 1/2 ▼

#### \* はい、いいえ、以外の回答から

本番稽古場使用などが決められない。
負債を負った場合は来年度以降に支障が出る。
通らなかったら、劇団解散の流れもありました
他のアーティストをいれられない
前払いがないのは本当に困ります。
審査の遅さや採択基準のあいまいさ、1次2次での不平等などで、影響を受ける団体が少なからずありそうだ。
採択結果によっては変更せざるを得ない。
もし助成金がないのであれば、障じます。
まだ分からない
まだ不明
審査の遅さや採択基準のあいまいさ、1次2次での不平等などで、影響を受ける団体が少なからずありそうだ。
10月末に沖縄で音楽イベントを開催、出演の打診がありました。12月末までの事業実施であれば、遅くても10月中には採否通知が届くであろうとの予測から、オファーを断りましたが結局、作業は発生しませんでした。
また、不採択であれば12月に別の公演を実施したいのですが、未だに通知が届かないため判断できかねております。

## 7) 不備連絡があり修正して申請したが、その後連絡がない

7) 不備連絡があり修正して申請したが、その後連絡がない  
303 件の回答



- はい
  - いいえ
  - 9/23に修正以来、2が月ほど待ってや...
  - 1次の申し込み時は1度の不備連絡に返...
  - 2期目にだそうとしたが、開始の遅れ...
  - 提出してから一度もない
  - そう団体からいわれている
  - ずっと無かったが先週やっと交付の連...
- ▲ 1/3 ▼

### \* はい、いいえ、以外の回答から

1 次の申し込み時は 1 度の不備連絡に返信した後、何もなかった。2 次の申込は不備なく審査完了しました。

2 期目にだそうとしたが、開始の遅れもあり、計画を変更した為、AFF には結果的に提出をしていない。

9/17 修正連絡、10/22 採択通知、その間は連絡無し

9/23 に修正以来、2 が月ほど待ってやっと 11/12 付で交付決定連絡。

AFF の枠組みに事務局が追い付いてないように思う。

ずっと無かったが先週やっと交付の連絡がきた。

そう団体からいわれている

初回申請結果が 11/14 現在まだ来ていない。11 にて詳細

申請完了から 2 か月以上たってもいまだ何の連絡も一度もない。問い合わせでもお待ちくださいとしか、案内されない。

知らされていない

提出してから一度もない

二度目の修正依頼がきて、出したばかりです

比較的軽微な修正だったはずなのですが、審査を後回しにされると聞き、稽古開始までに結果は間に合わない・・・その通りになりました

不備や差し戻しはなく、採択決定しました

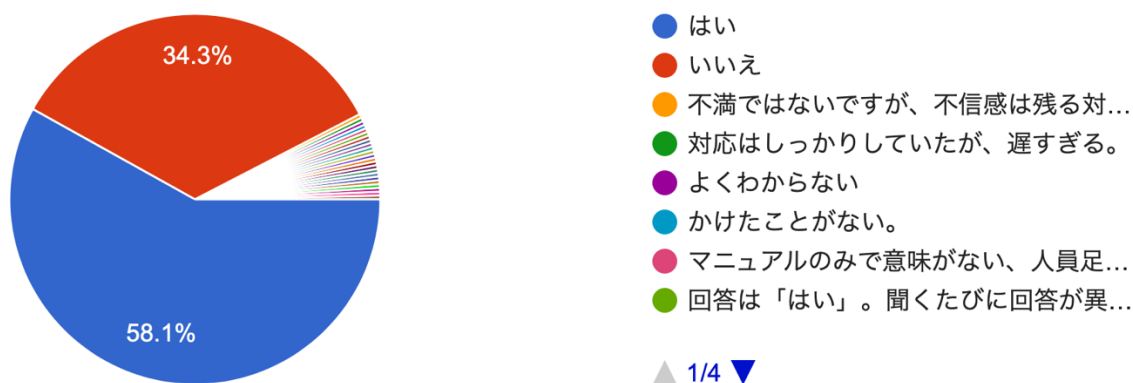
AFFの枠組みに事務局が追いついていないように思う。

10月22日18:30に修正依頼があり、3時間後に修正・再申請しました。未だ連絡は届いておりません。

## 8) 事務局からの連絡、コールセンターの対応に不満がある

### 8) 事務局からの連絡、コールセンターの対応に不満がある

303件の回答



#### \* はい、いいえ、以外の回答から

連絡したことがないので

連絡がないと聞いている

不満ではないですが、不信感が残る対応であった。

特に連絡はしていない

丁寧に回答いただけるが、申請が複雑で難しい

知らされていない

対応は親切で感謝しているが、説明会で聞いたことと実体がズレていると感じる。

対応はしっかりしていたが、遅すぎる。

人によっては感じ悪い場合がある

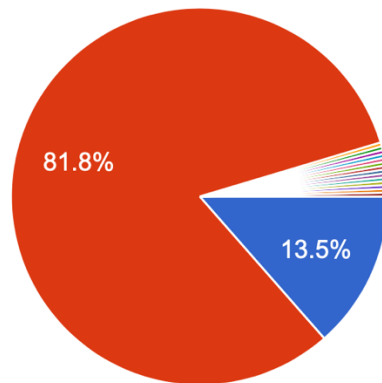
昨年の、継続支援の対応の方が数倍親切でした。当時、事務局を批判する声が大きかったのですが、批判ではなく改善を目指していれば、この様な全く違うことにはならなかったでしょう。文句だけ言って首をしめるのは考え物です。

最初から諦めてしまい一切連絡せず
計画内容を確認したにも関わらず、補助事業対象ではないとの修正依頼がきた
気概は感じるが、実際の遅れ方に誠意は感じない
回答は「はい」。聞いたたびに回答が異なる。録音しているのだから、証拠は事務局が持っているはず。
よくわからない
マニュアルのみで意味がない、人員足りない。
バラツキ多し。非常に程度の悪い(態度の悪い)オペレーターがいた。何かあれば「お待ち下さい」と言い、誰かに聞いてから返答する事が多い。どこの誰に聞いているのか不明。
修正指示内容は非常に些細で、ひとまず審査を終わらせてから修正しても、どうにでもなるような内容でした。 ① 主催者と申請者は同一である必要がありますので、主催者が明確に確認できるように「取組の内容(最大 1000 文字まで)」に追記をお願い致します。 →申請者=主催者と決まっているのに、記載する必要があります？ ② システム画面の取組 2 の収入(見込み)と収支計画書の収入が一致しません。 収支計画書の金額と一致するように正しい金額を入力してください。 →金額入力欄にカーソルがある状態でマウスを動かすと金額が変更されてしまう仕様(バグ?)のせいで金額が 2 円ほど異なっていました。なぜこのような操作ミスを誘発しやすい仕様にしたのか理解に苦しみます
10 月末にコールセンターに問合せした際、 「審査が遅れているようだが、事業実施期間の延長を検討してほしい、今後採択されても期間内の実施は現実的でない」旨を伝えたところ、 「他の事業者はいずれも採否通知を待たずに実施している。事業資金は金融機関等から借り入れてください」という内容のコメントをいただきました。1 次の採択率約 50%を踏まえた上でのコメントでしょうか。事業者が負債を背負うかもしれないのに、無責任な態度に憤りを感じます。

## 9)特に問題は起きていない

## 9) 特に問題は起きていない

303 件の回答



- はい
  - いいえ
  - 審査の遅れや開始の遅れは辛い
  - 事業計画そのものに影響を与えるよう...
  - 共同申請の番号を持っていたし、毎年...
  - 告知を含めてすべてが見切り発車での...
  - 知らされていない
  - AFFは評価すべき点より残念な点の方...
- ▲ 1/2 ▼

### \* はい、いいえ、以外の回答から

不備があったことに関してはこちらのミスの部分もあるので、意見をいうことではないですが、ミスを見つけてご連絡を頂戴するたびに1か月程度時間がかかるのはストレスではある。

知らされていない

申請結果の遅延は、既に会場を借りていたの、コンサートを開催するしかない当方に多大な精神的苦痛と経済的出費をもたらしました。この遅延は困窮している芸術関係者に対する補助とは正反対の困惑をもたらし侮辱的なプログラムになりました。

審査の遅れや開始の遅れは辛い

実施までに連絡を頂けず期間を短縮しなければならず、実施できなかったスタッフ・キャストに多大な迷惑をかけた。

事業計画そのものに影響を与えるような補助金はただの害悪、愚策として永久に恥じて二度としない方が良い

告知を含めてすべてが見切り発車での実施で、万が一の不採択を心配している。

購入予定の機材の機種や数量を決めかねていた。

公演終了後、採択されたため、何とか問題なく終わられた

共同申請の番号を持っていたし、毎年、芸文振の助成設けていて、第二次応募の初日に申請したが、交付決定は11月12日だった。何のための、共同申請番号なのか、団体資格の確認なのかよくわからない。なぜ、昨年の教訓が生かせず、VIPOのJlodのやり方なのか、演劇公演には向かないので改めてほしい。

概算払いが11月になったのが想定外でした。

まだ、わかりません

ひたすら待っています

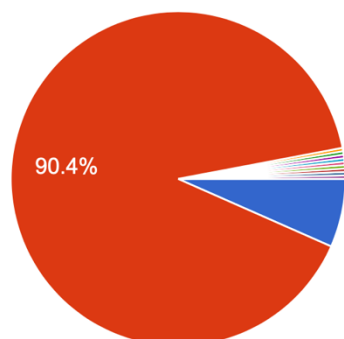
AFFは評価すべき点より残念な点の方が多い。

今のところ、問題しか起こっていません。

## 10) 審査の遅れがあるとは思わない

10) 審査の遅れがあるとは思わない

303 件の回答



- はい
- いいえ
- 仕方がないのでは
- そもそも申請から1か月と書いてあり...
- わからない
- 遅すぎる。その割には12月末までの期...
- ずっと遅れているという事は聞いてい...
- どのような順序（例：ID番号順、申請書...

▲ 1/2 ▼

\* はい、いいえ、以外の回答から

遅すぎる。その割には 12 月末までの期限を延長し、概算払いを復活させないのが不思議。あまりにも無責任である。

審査そのものの処理速度は妥当だと思います。問題は、今年いっぱいの内容に対して、募集が遅かったことかと。

思わなかった。ので計画を綿密に立てたものの、経費は自費で出費し、補助金を得られていない。

仕方がないのでは

わからない

遅すぎる。その割には 12 月末までの期限を延長し、概算払いを復活させないのが不思議。あまりにも無責任である。

1 次の時の審査遅れの反省が全く生かされていません。

本業務の元請け団体(VIPO ?)についてですが、1 次の審査遅れ、2 次に向けて審査体制を改善しなかったことは、債務不履行ではないですか？

また、審査が当初予定と比較して遅れているなら、事業期間が延長されて然るべきです。

## 11) 起きている問題について具体的に教えてください

11) 起きている問題について具体的に教えてください

申請内容の精査ができていない。

審査のスピードが流石に遅すぎる。

概算のスピードも遅い。

補償という前提で動けていない。

審査のめどが立たないため、全額負担になることを恐れている

大変審査が遅く感じます。

いつ採択されるかも分からず、公演を実施できない。

1 月以降まで伸ばしてほしい。

映画製作は、映倫の審査に時間がかかるために、AFF の補助対象期間・締切日の 12 月 31 日よりかなり前に製作を完了しないとイケなく、他ジャンルの展示や公演と、補助対象期間の長さ面で平等といえるのか疑問に思った。

のちに(二次募集の際)、12 月 31 日の時点で「映倫番号」を仮発番されていればよいと要綱が変更になったが、仮に 12 月末に映倫審査を申請するスケジュールで補助事業を進めると、実績報告の際には映倫からの請求書や領収書を取得できていない可能性が高い(審査完了前なので映倫審査料が確定しない)ので、映倫の審査料は事業者の 100%負担となってしまう。審査料は安くない金額なので、不満に思った。

公演が終わっているが、仮払がまだされていない。

役者スタッフ関係なく関わる方へのオファーのタイミングも難しく、金銭的な条件面でもよほど体力のある団体か赤字覚悟でやるつもりでないとはじめの段階から明確にいくら出せるかを明言し切れないため、どうしても後手後手になってしまうのが一番の問題です。

そもそも当てにしないで公演を打つのならば、助成金の必要性とはなんなのか、ということにもなる訳で、助成金申請することの意義とはなんなのかがよく分からなくなってくる、非常に疑問の残る制度に感じます。

審査がおりにくくを見込んだ公演に演出として声をかけてもらい制作に参加した。審査が制作途中で審査結果の報告が来ず、見通しのつかない状況になったが計画として動き始めており事業を継続することとなった。

演出に関わる交通費や宿泊費は事業の主催者が建て替えて払ってくれているが、演出料については払えるかどうかかわらないと言われている。

また、不安定な状況が続いたため公演の告知が遅くなり、集客が見込めない状況となった。

任意団体で主宰をしています。

10月と12月の2公演分で申請しています。9/9に申請。10/15修正連絡、10/16修正申請の後、音沙汰がありません。

当然のことながら、助成を受けられたとしてもチラシへの掲載は間に合いません。

また助成が認められなかった場合、数百万の赤字を抱えることになり、来年以降の活動の見通しが立てられなくなります。表現を生業にしているため、生活どころか人生自体を見直す必要に迫られます。不安です。

8取組で申請したうち、4取組は自主財源で規模を縮小し実施済み。2取組は自主財源で規模を縮小し実施予定で動いておるところ、2取組は採否を待って企画実施有無を判断予定としたため、これから詳細を検討する段階。できる範囲のことはしたいが、せつかくの企画にもかかわらず不完全燃焼にならないようにしなければならないのが不安。

この時期の採択だと概算払がほぼ期待できないことにいまさら気づき、当座の資金繰りの問題が改めて浮上している。

審査全体の遅滞はキツイところがあるが、問い合わせ対応は概ね迅速な印象。

主旨と裏腹に、消極的な企画にならざるを得ない状況がもどかしい。事業実施期間の延長と、2次募集採択団体にも概算払の対応を希望する。

12月の舞台を第一回の申請の頃から申請しているのにも関わらず訳の分からない理由で書類の再提出を受けています。特に笑えたのは、

「ポスターにある肩書きと提出された書類の肩書きが違う」でした。

ポスターは、お客様にわかりやすい肩書き「社長」を使い、本物の書類では「代表社員」で提出しました。当然、定款などには「代表社員」と書いてあるためポスターの肩書きはあくまでお客さま用だと分かると思うのですが、事務局の人は、ポスターを正式な国の書類か何かと間違えているようですね

自分で差し戻しをお願いして再提出済みだがいまだにも連絡がない

コロナ支援のはずが、この制度の立て付け、運用の問題により、負債を抱える劇団や、来年度の公演が目処が立たなくなったところが出ている。もし同様の制度が今年度の補正予算で実施されるなら、必ず設計と運用を変えて欲しい。

公演を企画したが、審査が通るか分からないのに決行することが難しく断念した。

逆に首を絞められています。実施期間の延長、採択から実施の期間にもっと余裕があれば、、、

審査連絡がこない

採択されなくても公演は行いますが、本番を行う気持ちが大きく違いますし、来年のことはいつまでも進められません。不採択の際はしばらく活動休止も考えています。

特に問題はありませんでした。報告書の提出後、一ヵ月で額の確定通知、その二週間後に入金があり、スムーズでした。

上演すみの公演の各支払いが、採択連絡がなく、できません。融資などでとりあえず払おうとしていますが、採択されなかったら来年度以降の活動は難しくなります。公演をしなければ支援しないのですから、迅速な審査結果の通知を強く望みます。

仮払い金を不備なく申請したが AFF 側のミスで支払いが遅れ、資金難になる可能性がある。

募集開始 2 時間後に申請しているが、その後修正依頼も何も一切連絡が来ていない。このまま連絡がないまま、実施する場合はもう宣伝を先にはじめなければならず、決定かわからないので、すでに人件費の面でスタッフにキャンセルの連絡をしている状況で、持ち出し金と、規模縮小を余儀なくされる。

1 次募集に不採択、2 次募集には応募しなかった団体の代表者です。

採否の決定と問い合わせへの連絡の遅れが、団体の意思決定の遅れに繋がり、公演中止を決定しました。

また、ようやく示された不採択の理由も「過去の決算状況から見て、プロフェッショナルの活動とは言えないから」という納得しかねるものでした。

ルールや線引きをあらかじめ示してほしかったと今でも思っていますし、本件には大きく失望しました。

助成されるかどうかかわからないが、助成決定を待つからでは準備が間に合わないため、やむを得ず先に公演準備を開始している。もし助成されなかったらそれは持ち出しになってしまうが、覚悟の上である。また、助成不交付の可能性を考慮し、主催者の自己資金の範囲でまかなえる規模に既に事業規模を縮小した。

新規任意団体 600 万の採択されましたが、支払い時期が未定なため自己資金が尽きました・350 万ほど持ち出しをしています生活が困窮してきています。

回答が遅いので期日に間に合わなかった

突貫でつくるので作品内容が納得いかない。でもそういうものだと思うしかない気もする

対象となる取組以外の公演を予定していたが、対象として申請した取組が採否が決まる前に終了したため取組外の公演を中止した。また、二次について概算払いがなくなったため支払いに遅延が生じている。

2 次のかかなり早い段階で決定を受けることができましたが、残りの 3 ヶ月で実施できるようにするために規模をかなり縮小せざるを得なかった。また、お願いする出演者の方にも十分な準備時間が用意できないので、出演者交渉に苦労した。

12 月終了の案件で今頃何をやってるのか！予算が立たないから中止にしました。

結果が遅く、予定していた会場が埋まり困っている。10 末までに出るといっていた結果もせず、関係者にも頭を下げ、信頼を失った。

宙ぶらりんにされもて遊ばれているように感じる。

早くに申請したものが他の申請の交付決定をうけてるものの結果がこない

採択の連絡が来たのが公演日当日の公演終了後でした。公演前に採択が下りなかったため計画の一部を諦めて実施しました。10 月初めには結果が分かると言われていたので間に合うと思い申請したのに、まさか 11 月初めの公演が終わってからの採択とは思いませんでした。

コールセンターに相談し、その通りに書いたにも関わらず、大幅なやり直しを求められた。何のためのコールセンターなのか？あらかじめそれを指摘されていたら、やり直しはなかった。コールセンターは何のためにあるのか？

未だに採択結果の連絡がない。採択された場合、12 月末の締切に対応できるか不安。

回答が遅すぎる。

採算のメドが立たず事業の閉鎖を考えている

<p>交付決定時期が遅いため、企画実行までに時間がなすすぎる。</p>
<p>申請対象公演終了後に不交付の連絡がありました。 不交付の理由説明も不明瞭であること問題ではありますが、結果交付にしても不交付にしても連絡がないため、当該公演に当初割く予定だった費用を削減せざるを得ない状況になった。</p>
<p>「確認中」は「差し戻し中／審査中／審査待ち」等に分類されるべきだと思う。</p>
<p>映画製作で申請しましたが、今年中完成させるために制作を実施せざるを得なかったため、予算全てを弊社負担で撮影を行いました。</p>
<p>すべて終了してからの採択であった為、資金繰りの検討がたまたず心労ばかりを、背負った。また、プロであるという判定の方法に強い不快感が残るものとなった。</p>
<p>修正後の審査待ちで1ヶ月経過した</p>
<p>公演予定日に採択決定が間に合わず、交付を前提に開催した。その後不交付となり、主催者の持ち出しが発生し、次回以降の開催計画の修正を余儀なくされた。</p>
<p>申請が通るか通らないかも分からないまま、申請した公演(10件以上)が次々と開催されている。人生が通らなかった場合を考えて経費を削らざるを得ない状況。</p>
<p>事務局も一生懸命されています。が、そもそも人材教育や不足が否めない感があります。これではせっかくの良い制度がお互い疲弊してしまう。</p>
<p>コロナ次第でイベントの実施、規模が変わる為、イベントが組みづらい。 イベント主催するにあたりやはり少なくとも3ヶ月は準備、チケット販売期間が必要。 急では会場自体も取りづらい。</p>
<p>もし採択されない時の赤字が怖くイベントやるのに一か八かになっている。</p>
<p>せめて年内ではなくイベント開催期間を伸ばしてほしい</p>
<p>来年の活動計画が立てられていない</p>
<p>止まっている企画 見切り発車した企画 待ってもらっている支払い 年内の企画のみが対象というのにこの時期で結果がわからないというのは 生殺しです</p>
<p>遅れ</p>
<p>2次募集の受付の初日に申請した。受付順に審査をしているとなっているが、確定申告の1枚目の書類が1枚足りなかった不備の連絡が1か月後になって届いた。実際にどういうシステムで審査をしているのか、不信感が募る。</p>
<p>要項を読み込まない申請者が多いように感じる。それこそ、審査の遅れの結果ではないかと思う。</p>
<p>とにかく何も連絡がなく、毎日毎日、今か今かと待っています。せめて、ステイタスだけでも教えていただきたいです！</p>
<p>いつごろ次の連絡が来るかわからないので、行動が起こせない。助成金が出ない場合、プロジェクト自体を延期にした方が良くと考えているが、延期にした直後に採択連絡が来るなどのケースも想定されるので、迷ってしまう。せめて次の連絡が来る大体の時期さえわかればそのあたりの行動も起こしやすいのに。ホール代のキャンセル料が発生する日時も迫っていて、決断を迫られている。</p>
<p>一次で審査を待たされた挙句、3ヶ月も遅れて不採択通知が来ました。くそ。</p>

<p>審査で引っかかり、予定額が出ないと報告をうけ、訂正して提出しましたが、まだ、連絡がなく、支払いが出来ないでいます。</p>
<p>採択はされたが公演の直前すぎて発注先(キャスティング、スタッフ等)の変更などにより経費が増加し、作品の質に影響を与えている。</p>
<p>1次が不備なく最終的に不採択でした。理由を聞いたら「2次で出してはいかがでしょう」という回答でした。窓口はあくまでも窓口なので連携が取れてなくてしょうがない感じです。</p>
<p>審査が遅くて、負債を抱えたままになっています。</p>
<p>審査の遅れから変更が生じるため、変更届が必要なのかも判断がしにくいし、問い合わせでも返事が遅い。</p>
<p>一次募集での雑な期日対応と判断基準の不明確さが改善されないまま、同じことをくりかえしている。この時期まで決定がずれ込むと、事業の実施の判断も、支払いの予定も、影響が出る。</p>
<p>一次審査の修正指示がきてからとまっている。 個人の実績が認められない。</p>
<p>主催が負債を抱える可能性。出演料の支払いの遅れ。他</p>
<p>上記の通りです。</p>
<p>一度修正をしたあと音沙汰なし。6月に終えた公演で、負担が尾を引いています。</p>
<p>10/25 不備連絡。たちまち修正し再提出。その後、音沙汰なし。 12/4 公演は計画通り実施。年内公演はこれが最終最後です。 当然チラシ他必要経費は主催負担です。採択されていないのでAFFのロゴも入れられませんね。 これで申請許可が降りなければ自己負担決定です。</p>
<p>人員足りない。二次から前払い無しは、一次で会場等借りた申請者にとって借金になる。 私は会場代だけで165万円、どうしたら良いかわからない。</p>
<p>公演は終了したにも関わらず、助成金の結果はわからない。 また今回、旗揚げ公演となるため、今年度の予算書を提出したら、前年度に立ち上げたということにしているために前年度の決算書を求められた。公演を打っていない年度の決算書が審査に有効な書類になるとは到底思えない。(その旨は事務局に伝達済み) 団体としての実績がなかったために中核者の実績を出すようにということだったので、団体の中核者の主催実績がわかるものを提出したら、代表しか中核者として認められないとのこと。ならば、中核者ではなく、代表の実績を提出するように要項に書くべき。(代表の出演実績がわかるものを提出) 以上2点について訂正したデータを送付したが、この2点については要項の不備だと思っているが、これで審査を後回しにされ、順に審査し予算に達したら採択されませんとの連絡。 納得はいかない。</p>
<p>公演が終わっても採択・不採択の通知がいつこうに来ないので、負担額の精算の目途がつかず仲間内で不仲が起きている。芸術家同士の喧嘩は表現上に影響が出るので困っている。</p>
<p>採択されなかった場合の、赤字の補填リスクが高い、当初の予定通りの審査で10月半ば迄に審査が終了すれば、不採択の場合に規模の縮小や中止が可能だったが、遅れた為にその対策も取れない。</p>

報告書を提出してから、振込までの期間が想定より長かった。
審査が遅すぎるのに、実施期間が早すぎて困ります。
採択が決定しないと経費の目処が立たず動き出せないにも関わらず、審査結果が一向に出ず、宣伝のためのチラシを印刷することもできないまま公演日が近づいて来ている。やむを得ず早くに押さえた会場費はキャンセルが効かず、中止になれば全額持ち出しになり、今後の活動に大きな痛手になる。
問題があるとするならば申請側だと考えています。
支援とは言うが、収容人数の制限や自粛(観客含む)があったりしているこの状況下で、補助金無しでの採算ベースにもっていくことの難しさ&不採択時の身銭(借金含む)を切ることになることの重大さを文化庁は理解されていないのではないかと。
今回、個人事業主が申請すら出来ないことも大問題である。団体を組めば良いとはいわれるがその方向に舵を切ることも簡単ではない。
イベントが実施できるか決められないので、予定が決められない
一度差し戻し申請をしてから連絡が全くありません。2 か月経ちます。全ての団体を確認したと hp に書いてありましたが、一度も連絡が無く、かなり怪しいと考えています。まるでこちらが悪いかのような言い方です。この書き方だと、差し戻し云々関係無く審査の相当な遅れがあるのではとしか思えませんし、当初の規模感ではコンサートができなくなり、希望補助金額よりかなり少ない規模での開催を余儀なくされていますが、それでも主催者の持ち出しが発生はやむを得ない状況です。また、税金についての説明がたりません。要項に詳しく書くべきでした。
地方税までかかると新規任意団体で気がついていない団体が沢山あるのでは？と税理士さんから聞きました。しかも、税理士代金を経費にこの規模でならないというのはおかしい！とおっしゃってました。
色々と雑過ぎます
採択、または不採択決定が出ずに団体として実施すべきか判断しかねていた。
予定通りの年内実施には、計画の練り直しや見直しが必要で、実施の可否が怪しいし、破綻する可能性が大きい。
予定通りの状況であるような審査状況報告をしていた事務局サイドの様子を見ると、何の説明やフォロー、立て直しもせず、このまま予定通りで実施される可能性も高いと感じていますが
採択不採択の連絡が遅すぎる。期間も短すぎる。準備ができない。やって不採択なら莫大な負債を負う
申請後、一度も連絡がなく実施すべきかどうか判断がつかかねているとともに、会場費などは既に一部支払いを行っており、このまま中止しても、個人負債が発生してしまう。開催するにしても、収入のめどが立たず、出演者等に約束している費用が払える見込みもないため、困っている。
返答がないので、二つ企画を申請しているうち一つは実施したが、もう一つを開催すべきか迷っている。もし落ちている場合は全て持ち出しになるので、明日の生活ができなくなるのが不安
•第一次の際、過去の緊急事態宣言下での公演キャンセル分で申請したが、周りの新規の団体は採用され、自分たちは不採択だった。既にマイナスになっている団体よりも、まだ何も始まっていない団体を優先させるほど自分たちには価値がないのだと、心に無言の暴力を受け、心身ともに不調に陥った。
その長年続けてきたその公演は今年度で最後にせざるを得なくなった。

•AFF に採択された時のために出演者に予定をおさえてもらっていたが急遽キャンセルしたため出演者からの信用を失った。

採択結果が通知される日程は当初規定に記載されていた期間を2ヶ月も過ぎていたにも関わらず HP 上にお詫びの一言もなく、何の責任もない人たちに人生を狂わされた。首を括るしかない

•公演の準備には通常1年以上かかるのにも関わらず、11月中旬現在、2次の採択結果が半分も出ていない状況は、国のプロジェクトとしてはあまりに無知であり、異常。鬼畜。

修正してから結果が出ず、今月末に実施予定ですが、出演者からも心配の声が上がってます。

産業の活性化を思い、持ち出し含めて企画したが真つ当な企画でも補助金出ないならただの詐欺。文化庁で企画運営してろとしか言えない。問題を問題提起出来ない無能が多過ぎる事が問題です。

控えめに言っても色々と変える必要がある。

負債を抱えなくてはいけないリスクの中行なっているのは、コロナ禍でそもそも負債を抱えがちな上、無謀な計画だ。

上記の通り、公演の規模縮小せざるを得ないこと。審査が不採択であった場合は主催者の負債が大きく、資金繰りの為に割く時間が多く、小規模集団では創作に集中出来ない。

コールセンターの質の低さ。言っていることが食い違いかつコロコロ変わる

審査の不備の意味がわからなくて電話をするがつかない。これ以上遅れると今年中の実施は難しい。もうすでにいろいろ使ってしまったいて、どうか来年まで開催期限を伸ばして欲しい。

2次申請に出しました。去年の「継続支援」は個人でしたが、「ARTS for the future!」は団体の代表として申請しているので予算規模と責任の大きさは比べ物になりません。2次募集は「前金」無しへの変更アナウンス無く、支給無しとなっていた。

これまで自分の企画内容の変更・調整をしながら、文化庁からの返事をギリギリまで待ちました。しかし限界を超えて見切り発進をしたいまは、採択される／落選の両方のパターンを関係者に連絡をしながら、展覧会を開催しています。

協力してくれている方々には、ご心配をおかけして申し訳ありませんし、多大なるご迷惑をお掛けしてしまいました。いまは補助金の内容についてよりも、文化庁からの返事が遅れることで、アーティストたちが築き上げてきた協力関係を崩しかねない事に直結していることに、もっとこの仕事の責任の大きさを感じて仕事をして頂きたい。

美術界の任意団体にとって今回の AFF はもの凄くハードルが高かったです。美術の団体は、音楽・演劇・映画など鑑賞チケットビジネスモデルがありません。収入は作品の販売が殆どです。入場料を頂く美術展を開催している団体の実態は年会費型の美術協会や美術団体に限られます。広い層の美術家にも使って貰える補助金申請を作って頂きたい。

アンケートが役に立つことを願っています。ご苦労様です。

差し戻しがあり、再提出をしてから3週間経ちました。1ヶ月後に公演を迎えるには、とても時間がなく、仮オファーしている関係者を思うと心苦しい状況です。広報の時間も猶予がありません。合わせて過去の申請もしました。こちらが通らなければ資金繰りが厳しいままなので、やはり12月に新規で無理して公演をうつのは危ないかもと躊躇しています。返事がないまま、決断を迫られている状況で、11月になってから心が削られるような毎日を過ごしています。

観客もホールもまだまだ及び腰です
中止にしようかと悩んでいる
既に公演の予告、チラシの印刷なども終わり、製作も進んでいる段階であるにも関わらず審査が終わっていないことで、公演の実施そのものが危ぶまれている。
審査が遅い。書類不備の修正を認めてほしい。
事後変更が多すぎる。変更するのは勝手だが、変更前の事案に適用するのは許されるはずがない。
12月に企画を実施予定だが、採択通知の遅れによって、作家のブッキングが遅れ、作品制作事態に支障が出ている。
とにかく決定がおそいのと、必ずオリエンテーションに参加しなければならないのがよく分からない
10月15日からの公演だったのでスタッフキャストへの支払は11月末としています だがPCR検査費用等はすでに持ち出しで支払済み。 資金繰りもあるのでとにかく早めの返事連絡が欲しい。 公演3日前の10月12日に書類不備連絡がメールにて来てすぐに提出しました。 (住所のビル名の記載仕方など)
採択結果が出ないうちに10月8日に公演を実施した 持ち出しが50万を超えているが、いまだに結果が出ていない 審査基準が曖昧 チャージバック、ノルマ制など、会場に請求書を立てる方式は主催実績として認められないと言われたが、納得できない 指示通り修正したにも関わらず連絡がない
私たちはギャラリー側です。12月上旬に予定はされていてすでにこの期間に他の希望者の問い合わせもあったのですが、主催者に規模などまだわからないといわれてしまっています。
11月開催の催事が2ヶ月放置
この補助金があるから、この補助金の趣旨だからと企画された公演が数多くあると思うが、少なくとも私はこの補助金のお陰でつらい思いをしたし、私に関わった方に少なからず迷惑をかけた。補助金が存在したからこそ混乱を招いたという事実を見過ごすことは出来ないが、私にはどうする事もできないのが悔しい。
リサーチを兼ねたプログラムを行う予定だったが交付の連絡が来ず踏み込めなかった。結局プログラムを変えることになり、ツアー予定で現地ごとのクリエイションを考えていたが、稽古が間に合わないで同じ役者で回らざるを得ない。本来は私たちを通して広く分配を生むための施策だったと思うが、予算が避けるかどうか分らず、短い期間で可能な方法となるとコンパクトに収めざるを得ない。
採択されるのか不安な日々を過ごしています。
10月中旬に2次募集の結果が出る予定だったのにまだ審査中で困っている。
差し戻しされた理由の意味が分からず、説明したが、了解の返事も無い。
結果連絡が遅れたせいで全公演を中止することになり非常に憤っている。コールセンターに電話して質問するが、その回答が二転三転する。また、はっきりとした回答が得られない。
関わった申請は全部採択されたので、 大きな問題はないですが、一次審査から後だし条件や特にお知らせされていないことが要項で変わっていたりしていることで

す。 変わるならせめて周知する努力をしてほしいです。
特になし
事業が終了しても結果は未だです。
一次募集で応募しましたが、4月末に申請して、回答が8月末(事業は8月中旬)。結局不採択の返答でしたが、こんなタイミングまで回答して頂けないとなると、恐ろしくて事業を計画出来ません。現場との時間感覚がズレ過ぎていて、予算を消化する為だけの、お役所仕事と言わざるえません。不採択の理由も明確でなく「過去の実績がないため」と一言。大量の資料を提出させておいて「実績がない」の一言では到底納得出来ません。「持続可能な活動」は実績がないと持続可能とはならないのですか？事業の内容を審査しているのではないのですか？納税者として、こんな不誠実な仕事をする文化庁が残念でなりません。
また、AFF が在ろうとなかろうと準備してきた公演だった。せめて昨年のような一部でも概算払いがある前提で、助成を捉えていた。二次応募はそれが無いとわかり、金融機関で融資を頼み込んだ。制度として12月までに事業を終わらせるという縛りがあるのに、申請数が増えて統括団体のキャパ越えをしたからといって、ズルズルと交付決定が遅れるのは、筋違いだとおもう。統括団体はそれなりの事業に対する運営費をとっているのだから、人員を増やすなどの責任を負っているはずだ。また、衣装費が認められなかったという話を聞いているが、なぜ、JLODで起きている衣装費は対象外という、通常の演劇公演で考えたら考えられないプロトコルが存在するのか、理解できない。また、JLODは、事業報告提出から支払いまでに1年を要したケースもあると聞く。民間なら、それは債務不履行ではないか。この支援は文化庁のものだが、文化庁の他の助成を受けている団体は、その事業の取り下げもしなくてはいけない。助成の差がこれだけあり、コロナの影響がまだあるなか、助成を受けている団体は、受かるかどうか分からないAFFの為に取り下げというリスクを負う。本来ならば、助成全体で費目から他助成を差し引くなどの対応ですむはずだ。昨年の共同申請では、費目がかぶらないようにして、きちんと芸文振の報告をしてきた。真面目に誠実にやっているのに、リスクがどんどん増えるのは、制度設計に瑕疵があるからではないだろうか。確かに、不誠実な団体もあるだろうが、今は、不誠実であることを前提にした制度になっていて、真面目なところが苦しむしかない。業界全体にも、反省が必用だとおもう。
年内に事業を終了することができそうになく困っております。
偶然にも10月中旬に採択されましたが、どのタイミングでくるのかが全く分からず、公演進行に支障が大きく出ております。また、別の任意団体も、タイミング遅く採択され、支払いの予算のお金が集まらず、困っております。非常に、申請は楽で、偶然早くに採択された方にとってはとてもいい助成金ですが、この処理には財源のない団体はとても判断に苦しむものです。
事務局の電話対応がバラバラで、実績報告の際に認められない経費支出が出た事例が散見され、恐れ懐いています。自分も事前に何度も電話で確認してからイベント開催を進めていますが、実績の手引きもひっそりとアップデートし公表もちゃんとしないうちに怒りを感じる。また二次募集から概算払いがカットされたのが痛い。借金まみれで来年の精算についても不安がある中、ものすごいストレスを感じながらイベントを開催する点、フリーランスに支援が届くことを想定して作ったというが、全く支援のような寄り添いも感じられない。なぜ個人支援を継続支援といいつつ一年こっきりで廃止したのか。周りはイベントも増えたが、来年はもうもたない。
補助金にかかる税理費用がおおきい
判断基準が曖昧で予算額と応募額と判断基準が合っていないのでその調整してた印象なのが残念。この助成金の意味あい考えると全て出しても良いくらいと言いたいです。

コロナを踏まえ中止後、採択されましたが緊急事態宣言にギリギリはずれしてしまい、キャンセル支援も使えず計画変更申請中。中止の負債と計画変更がおりなかったときのリスクで動き出せず。採択遅れもですがキャンセル支援の措置期間の条件緩和なども検討してほしい。凄く流行った後だったので。。

実施日を変え、引き延ばしにして待っている状態の公演も有り。しかし、やるかやらないか、判断の時が来ている。

決定が出ず、予算通りやるべきかわからない

- ・更新したマニュアルの新旧対象表がないので、どこが変更になっているのかを自身で探さないといけない。
- ・採択を受けた段階での概算払いが公演終了後の時期(11月)だったので、概算払いの手続きを諦めたがキャッシュフローがない。
- ・実績報告の手続きの段階に来たが、コールセンターに細々問い合わせをしても「総合的な判断になる」の一点張り。また、人によって回答があやふやであるため実績報告での差し戻しで補助金の支給までに時間がかかるのではないかと懸念している。YouTubeで実際に実績報告をした人の動画を見ると、実績報告の手引書に記載されていないことや、コールセンターに問い合わせをしても回答が得られなかった案件が差し戻し事項になっており、7月末に実績報告を済ませた団体が未だに補助金の支給に至っていないという経緯に驚いている。
- ・コールセンターの指示でメールで計画変更をしているが、一週間以上たっているが返事がない。実績報告締切までに間に合うか心配である。
- ・年内で事業完了しなくてはならないのに、いまだに2次募集の採択で審査員の手がいっぱいになっている現状が信じがたい。

出演者への支払いが相当に遅れている。

指摘通り修正して提出したが、その後連絡がない。

不採択の場合の資金繰り。

公演自体は9月なので実施済みだが、結果がわからない状況での実施になったので予算をかなり切り詰めて行うことになった。

審査基準が不透明。審査が遅い。

審査遅れがあることを見越して、体力のある範囲での収支計画で催事を実施したが、未だに審査結果が返ってこず結果的にアーティストの支援につながっていない状況です。

申請作品を製作中。採択されるのかされないのかで変わる部分が多いので手探りでしている状況。宣伝にも関わってくる。一刻も早く結果を知らせてほしい。

交付決定し、配信終了後に事業報告を行うので特に問題なし。

ただ、一次募集では全てに問題及び不満はあった。(その時は不採択、やり直し後の連絡もなし、電話対応もひどかった) 唯一あるとすれば全てデータでのやり取りのため、パソコンが使えず機械音痴の自分としてはスマートフォンで報告の申請が出来るのかは不安。これに関しては窓口にお問い合わせしたが勿論向こうも説明は出来ず、調べて自力で行うか、誰かを頼るしかない。全ての人がパソコンを持っていて使えるという前提のもと行われることは不満。

後払い制なので一時的に大きな負債があり、生活に支障が出ている。

AFFに採択されたらという条件付で企画したが、採択決定が遅れたため、アーティスト、スタッフのスケジュールを拘束することとなり不利益を与えることとなったり、作品づくりに必要としていたアーティスト、スタッフを確保出来なくなったり、不確定な状態でのオファーやキャンセルをせざるを得なかった為、集団としての信用の失墜が甚だしく、今後の活動にかなり深刻な影響を及ぼした。

締め切り直前に申請、直後に内容不備に気づき翌日申請者から差し戻しを依頼。コールセンターからは「審査に入っている場合は差し戻しできないが、あなたの団体の申請はまだ審査に入っていないため差し戻し(システム上で修正・再申請可能な状態にすること)が可能」と回答。締切 4 日後の 9/21 に修正可能となり、9/22 に修正再提出。11/14 現在まで採択結果や修正等一切連絡なし。

HP のお知らせではすべての申請について 1 回目の審査が終わったとアナウンスされていますが、当団体では経緯の通り一回目の審査結果の連絡が来ていない状態です。

審査の遅れだけでなく事実と異なるアナウンスをする事務局に不信感が募ります。

5 月の時点で、2 次募集期間の予定が 6 月 30 日(水)~7 月 26 日(月)と告知されており、これに申請を予定している公演が 9 月にあった。しかし、1 次募集の審査遅れにより、2 次募集の実施事態が不透明な状況に変化した。さらに周囲の 1 次募集に応募した人々から、不採択になったという声を多く聞くようになり、その理由も合理的とは思えないものが多かったため。ファンドとしての AFF の信頼性に疑問を抱くようになった。結果、AFF をあてにしている公演を行うリスクが余りにも高いと判断し、公演を中止するに至った。

2 次募集で新規申請。11/5 に修正依頼アリ。代表・担当者が演者本人であるため、緊急事態宣言明けから超多忙となり修正対応ができないため、事務所スタッフが代わりに電話で問い合わせた。修正依頼の内容は、必要な資料の添付漏れだったのだが、指定の資料は添付されていた。正しく添付されていることを電話口で確認し、コールセンター担当者もわからないので個別に申請内容を確認して回答するという事になった段階で、問い合わせしているのが本人でないことがわかり、本人以外には回答できないと突き放された。

個人申請ではなく団体のみが対象となっているのに本件対応できるのが代表者・担当者の 2 人までである時点で疑問。しかもコロナ禍で担当者が感染でもしたらしばらく作業ができないこともある。(大きな団体なら代表者が実務を担当することはあまりないだろう)

せめて担当者を複数登録、またはマイページで変更できればよりスムーズなはず。

本人からメールで再度問い合わせるよう指示されたが、考える可能性にかけ、数ページあった資料を切り分けて複数の資料として添付再申請し、レス待ち中。

開催日が迫っており、結果が出るタイミングによっては中止も視野に入れている。

審査結果が遅い上に年内に公演を行わなくてはいけない為、団員にも多大な迷惑が掛かっています。不採択なら不採択で早くお知らせ頂ければ負債は減ります(他の仕事を入れる事ができます)

AFF に申請をし、12 月に公演予定でしたが、結果が届かず、広報や稽古などの準備期間が取れず公演を断念しました。AFF を含み、今後の公演計画を立てておりましたが、立て直しをすることになりました。

「概算払い」に関する書類不備があり、訂正する旨のメールが来ていたが、訂正書類提出の期日がメールの届いた当日か次の日くらいだったので、メールを開いたときには手遅れで、概算払いを受けられなかった。現在は全ての支出を持ち出しで事業を行なっている。

審査の連絡があまりにも遅すぎるため、公演中止や延期の判断をギリギリまですることができない。

10 月中旬に不備連絡。直後に再提出するも、その後音沙汰なし。11 月 14 日開催の公演については中止とし、12 月 18-19 日の公演は規模を縮小したうえで模索。

12 月 25-26 日の公演も同様。

実績証明の資料で、公演のフライヤーをまとめて提出しましたが、その中 1 枚のみが「団体名が記載されているので、任意ではなく、既存団体なので決算書を添付してください」という修正依頼が来ました。しかし、フライヤーの中には何処にも団体名が表記されているところが無いので、完全な AFF 側のミスで電話で問い合わせた所、ミスは認めず(というより、窓

口の電話対応スタッフさんは中身については審査はしていない側の方なのでどうしようもない。ので、テンプレのような対応しか出来ず、話が噛み合わない箇所が多々ありました)、後日、電話にて「決算書は不要なので、任意団体だと証明をする資料を制作し、添付して下さい。」と変更になった。提出後、現在審査中?のようですが今年中に実績報告をしなければ支援金は降りないので、このままでは借金を負うことになり今後の活動に支障が出る。又は辞めらざる負えない状況になるかもしれません。今年 30 代になり表現者としては脂の乗ったとても大切な時期ですが諦めずやるしか無いのかもしれませんが。AFF の対応は丁寧ですが、表面的な丁寧さで、中身が追いついてない感があると思う。

スタッフやキャストへの支払いが予定よりかなり遅れている。関係者一同、事情を理解して待っていているが、年内に支払うべきものの目処がたたない。融資をうけようにも返答がないため資金繰計画をたてようがない。

すでに終わっている公演なのですが、助成金が出る出ないで関係各所に支払える金額が正直変わってくるので、支払いをお待たせしているのが申し訳ない。そしてその時期を具体的に提示できないのも今後の信頼関係が揺らぐので厳しい。

知らされていない

審査が遅い、コールセンターの説明がわかりにくく高圧的

関わっている案件の採択が遅れたためスケジュールの変更、押さえていた会館のスケジュールと出演者のでスケジュール調整が非常に困難で出演者に無理をして変更していただいた。

交付決定からかなり時間が経過して、未だに交付されず。

持ち出し負債があるので、一刻も早く交付して欲しい。

12 月迄に作品を完成させるために、今あるお金でやりくりしなければならないのが辛い。

作品提出期間が短いのに、二次になってから概算払いが出なくなったため、依頼する為の前金を作るのがとても大変。結果、まだ受注出来ていない所がある。

これで採択されなかったら本当に最悪です。

10 月半ばからのツアーを事業申請しましたが、採択結果がわからず、かといって協力をお願いした方たち、出演を依頼した演奏家たちに迷惑をかけるわけには行かず、自腹覚悟で事業を行いました。1 カ月近くのツアーだったので、途中で結果がわかるのではと思っていましたが、結局 11/13 にツアーが終わっても採択結果は不明なままです。早い段階で不採択がわかれば事業を中止したり縮小することもあり得ましたし、こんなに審査が遅れるのなら、最初から事業を計画しなければ数百万円の自己負担なく済みました。まだ各地で制限等が完全に解除される前の段階でツアーを開始した為、客席制限もあり入場料収入も十分ではなく、結局自己負担で事業を開催して大きな負担が残るだけなのかもしれません。いったい何の為に申請したのかと日々悩んでおり、来年に向けての活動計画にも支障をきたしています。

銀行口座のふりがなを間違えたので差し戻しをし、再申請をしていたが、11 月 14 日時点で未だ返事が一切来ない。そのため開催するかどうかの判断もできず、公演の準備もできない。このままでは公演したとしても内容はやつつけにならざるを得ない。

そもそも、公演を打つことだけではない、という認識を共有していただきたい。

それよりも、まず稽古の中での創造作業がいかにか公演をするにあたり、大きなパーセンテージを占めるか、そこが大事だということ。

概算払いがないので貯金を切り崩している

AFF の関係でギャラ支払いが送れている

審査を 1 ヶ月程度を目処に処理するという当初の目標から大幅に遅れていることを鑑みると、今後同じような補助金政策を施行する場合は(今度こそ)ちゃんとしていただきたい。

公演を終え、キャストへのギャランティなど支払えていない状態にあります。このまま待たされ、不透明なまま不採択となれば劇団の存続が危ぶまれます。

これほど、丁寧に膨大な数をチェックするのに、これほどの、時間を要するのはもはや仕方ないのではないかと思うくらい、丁寧な確認をいただいていると思っている。来年以降も同じような取り組みをしてほしい。

初日の朝準備して出したのに、一度修正ののち返事がない。また、一次の際(不採択)も、結果が最後の発表まで散々引き伸ばされた上での不採択。計画も経たずに困りました。また最初の説明会も聞いていたのに、内容もころころ変化するし、他の財団(文化庁含め)通帳の名前の完全一致など求められたことはなく、今回新しく通帳を作る羽目になった。事務局の対応レベルが低すぎる。

公演延期

人員縮小

経費立替

キャストやスタッフのギャランティーが確定できないため、とりあえず、採択された場合を想定した金額を一時的に支払うために、消費者金融などから借金をする予定です。数十万円になるので、利息もそれなりにかかります。

1ヶ月で結果がくるとのことで待っていたが、そこから更に1ヶ月かかった。採択はされたが、気が気でなく、その間の補填は個人で行い、もし不採択であれば全額自己負担となっていたため恐ろしい。

公言されていた1ヶ月で結果という部分には責任を持ってほしかった。

審査が遅すぎて困っている

10月第1週目に採択されていても、12月末までに全ての支払いが終わらなければならない。22年1月10日までの事業報告を義務づけられているが、最後の催事の終演日は12月30日。10日ほどで清算手続きをしなければならず、支払いの完了も大変である。事業報告+清算手続きは、せめて事業終了後30日以内としてほしい。

審査結果がまだ出ない。

ギャランティの交渉について、「助成金の結果が出るまでもう少しお待ちください」とお願いし続けているが、さすがにそろそろ限界で、これ以上遅くなると、信頼を失う。

また、予算がみえないことで、さまざまな判断が後手に回っていることで、製作しようとしている作品にも少なからず影響がでている。致し方ない部分もあると思うものの残念です。

こちらの書類不備はなく、それでも採択通知が届いたのは10月29日の金曜日の18時。申請完了から42日後。土日をはさむため、結局関係各所へ連絡し、制作運営準備が正式にスタートできるのは11月に入ってしまう。

採択結果が出るまでは、支払いがおきることを進められないため、取組の準備が全く進められないまま、展覧会実施日が迫り、結局、会場をおさえられない、作家への正式オファーができない、制作期間が極端に短くなってしまふことで、作品のクオリティを保証できなくなる、広報や集客の見込みがたたない、など取組実施にとって望ましくない状況がかさなり、展覧会そのもの中止を決断せざるを得ない状況になる。せめてあと10日結果の連絡が早ければ、事業期間が12月31日と迫る中での1日の遅れは重い。

最初のレスポンスが遅く、さらに不備だったので、年内予定に間に合わない

映画製作。完成した作品は映倫審査を受けることが義務づけられているが、AFF作品の審査について、文化庁は映倫に全く話しを通してない。文化庁が勝手にやっている事。なので映倫は通常業務に加えての審査体制が、とれていない。二次の募集期間の時点で、年内審査は無理と映倫側はコメント。事態の改善を事務局に申し出たが、文化庁は何の手も打とうとしない。理解不能。失礼極まりない。

知人の団体の2団体の申請手伝い。

1団体目、9/10提出、9/29軽微な不備連絡、即日対応、以降連絡なし、11/14公演実施。支払いについては関係者に相談中。

2団体目、9/14提出、10/26軽微な不備連絡、10/27対応、以降連絡なし、12月中旬公演予定、主催者は資金繰り中。どちらも、決定が出ないうちに企画が進行しているので、縮小の判断もつかずに、多大な支払いを抱える懸念を感じながらの実施。

採択なかったか遅かったせいで全てがおせおせになり現場に負担がかかり、何のための助成かわからない状態である。

一回目の不採択の際は、書類の不備を指摘され、修正手続きまでしたのに「実績がない」との理由で散々待たされた挙句、公演日の直前の連絡だった。実績のことを指摘するなら、修正も何も関係なかったはずである。2回目の募集は、ようやく採択の連絡が来たが、本番18日前。舞台を作るのに、どれだけの人が動き、どれだけ準備がかかるのか全く考慮されておらず、結果的には振り回された感否めない。

【会場予約もして書類も揃えたが、募集締切前の数時間、AFFサイトマイページからの申請が出来なくなり、AFF事務局にメール・電話で問い合わせたが「申請できた人もいるので」とコピー的返事が来るだけで申請を受け付けてもらえなかった。】

AFF事務局が「締め切り日時まできちんと申請を受け付けるので書類をちゃんと揃えて申請してほしい」と説明会で回答していたので、それを信じて、公演会場も予約し書類も完全を期して揃えた。

締め切り最終日の22時ころから申請手続きを進めようとしたが、その日の夕方からマイページでの一時保存ができなくなり入力し直しが何度も発生した。最終日の23時ころからは申請ボタンを押しても「ページが存在しません」というエラーが何度も表示される。戻るボタンを押すと一時保存したはずの内容もまた消えている。それを繰り返しているうちに締め切り日時を過ぎてサイトには「受付終了」が表示された。

呆然という他はない。

支援者から、何団体か同じことが起こっていると聞いた。

上記の経緯をAFF事務局のメールフォーム、電話、返信のメール(エラーページのスクリーンショット添付)で説明し、書類は揃えたしアーティスト達にオファーもした、会場も予約してしまったので申請だけはさせてほしいと要望を出したが、「AFF申請サイトに繋がらなかったのは貴団体の問題、ちゃんと申請できた団体もいる。締め切り日時を過ぎたので申請は受け付けられない」の一点張りであった。呆然という他はない。企画していた3公演を中止し、予約していた劇場にはキャンセル料を支払った。オファーを出していたアーティストも上記の経緯を聞いて大きなショックを受けた。

公演終了後に採択の連絡があり、チラシなどに掲載が出来なかった事と、キャストスタッフに明確なギャラの提示を採択結果が出てからにしてもらう事をお願いせざるを得なかった、採択が早かったら、もう少し改善したいことがあった。

代表者を証明する書類の選択肢を広げて欲しい。マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証(住所が違うため使えず)、住民基本台帳が用意できない状況で、住民票でも良いかという問い合わせに、事務局の判断によるので提出しても確実とは言えないという回答で、不安だ。

12月初めの公演を予定していたのですが、交付決定が11月中旬となり(それはありがたい事なのですが)、準備が間に合っていません。

経費の保証がないと見切り発車も出来ず、スタッフにも声を掛けられない状態でした。

予定していたピアニストもほかの予定が入り、代替りの人材を探しています。

あと1ヶ月決定が早ければ十分な準備が出来たのにと、残念に思っています。

1. 出演者依頼者、外注する舞台制作系会社、スタッフとの関係性、信頼性が崩れた。
2. 使用予定のホールと後援名義の財団(ホール指定管理者)からの信頼を失った。
3. 上記1と2のため、来年以降に再結集、信頼関係再構築を見込めない。
4. 負債額が膨らみ団体の解散、廃業、そして負債の自己負担。自己負担のための転職が現実的になった。
5. 上記4のため、転職活動開始と借金をし始めている。
6. 不眠症、精神薄弱になり通院、投薬を開始した。

元々の申請期日が2ヶ月以上遅延した事で、既に決めていた公演に多大な損害が生じた。

スムーズに採択決定しましたので、特に問題なしです。

不明点の質問に対しての回答が曖昧すぎて困惑することが多い(ご自身で判断して下さい等)。また説明会における約束事(審査の遅れの改善)が一次に続き二次もなされていないので、事実上負債を抱えている状態。採択不採択の可否さえ分かれ今後の見通しを再検討できるのだが、現状不明であるため動きづらくなっている事実もあり。

連絡がとにかく遅く諸々の判断に困っている

不備がありすぐに修正したがそれから1か月以上経っても連絡が来ない。12月の小規模コンサートは採択されなければキャンセルするか規模縮小したいが判断できず困っている

ありません

内容をかなり変えても主催者側にかかりの負債が発生するが、場所や人のスケジュールをおさえている責任上、開催しないとしない。個人的にも負債をかなりおう

実施報告書に不備があると連絡があり修正して提出したが、その後連絡がない。

計画が立てられない

公演開催時に採択決定が間に合わない見込みであった公演については、出演者等を減らして不採択になった場合のリスクを下げて上演した。また採択決定を頂いた後の公演については発注の遅れなどで当初の予定通り行えない部分が出て来ている。また発注先の業者さん(音響照明屋さん等)には、採択されなかった場合には規模を縮小してください、と無理なお願いをせざるを得なかったため、大変ご迷惑をおかけすることとなった。

審査の遅れにより、開催(内容、報酬など)が不透明になり、演者の日程を無駄に拘束してしまい、演者の活動を阻害してしまっている

すでに公演が終了したのですが、第2次の募集で採択されて未払いの件の目途がつき演劇関係者の方々への迷惑を最小限に抑えることが出来た事には、感謝しております。

請求書の訂正が再三ある、ギャラ支給遅れによる生活の困難

舞台の計画がたてられないということは

仕事ができないので

キャストやスタッフにもいつまでにお返事したら良いのかわからない。

採択の前に公演チラシの配布が必要だったので、見切り発車で公演を実施した。その後、採択されたので事なきを得たが、会場スタッフ等に心労的に迷惑をかけた。

弊社には全く問題はありませんでした

特にありません。

1次審査で採択され、10月31日に7割の仮払いも行われました。採択から仮払いまでは長くかかりましたが、おおむね予定通りです。

しかし1次審査に応募せず、2次審査へ応募したと思うとぞっとします。多くの同業種の方の心労を察します。

しょうがないが、対象の時期にうまく当てはまらない舞台での申請が難しい。会場の抽選によって左右されるのでコントロールしにくい。

1番大型の舞台が支払い12月までかなる発生するか、開催が1月半ばの為取り組みに入れられない。

実費負担による会社の存続、不採択の場合イベントキャンセルしたいのだが結果がでないためそれもできず実費だけがふくらむ。積極的な公演を支援する目的なので不採択も覚悟で開催してくださいとの説明だったが開催すると実費が跳ね上がるため小規模事業者にはそんなことできるわけがない。あまりにも無責任。かつ愛がない。ただでさえコロナ禍でダメージを受けているのにとどめをさされる気持ち

複数の公演について申請しており、結果が早ければ来年度の公演についても前向きに進められるのに、それができない状況です。

特になし

- ・遅れていることによって開催の告知が遅れたり結果的にチラシを急いで刷ったりして当初より高かった。
- ・給料が十分に支払えなかった
- ・規模をかなり縮小した
- ・持ち出しの部分が大きい
- ・遅れていることにより様々な決定が遅れた

二次審査の交付、不交付の連絡が無い。

再申請からの回答はいつになるのか、めどが立たないのが一番困る。

採否の決定連絡が遅くストレスがある。幸い比較的早い段階で支給決定されたので取り敢えず感謝。ただ事業が年末で事業報告期間が短くなるのが辛い。

コメント、詳細を確認せよと連絡がきた。修正するも反応がなかったので再度通告したとメール。

現在やり取りをするも、話が遅延として進まない。

何度もコメントは確認出来ませんか？とくる、

こちらは確認出来ないと返信。

詳細は見れますでしょうか？

見れませんか？と返信。

このやり取りが、かなり延々と続いている。

ちょっと担当の要領を得ない

返事が来ないので、実施の判断が出来ず、会場が押さえられない。予定していた会場が埋まってしまった。

予定が立てられず、準備も進められず、非常に困っている。

先に申請した団体が未だに採択結果が届かない

集客がんばります

計画変更が完了したかどうかの連絡が遅い。7月の公演の実績報告提出してから数ヶ月連絡がない。
特に問題はないですが、電子マネーでの支払いが交付決定後に経費対象外になったのは納得いきません。
報告したが2週間連絡が無い
精算書式などの変更が分かりにくい
審査が遅れることによって、スタッフへの支払い金額や公演規模の拡張の目途が立たず困っている。 審査が通るのであればぜひとも正規の金額を支払いたいし、満足のいく公演を打ちたいのだが、審査の進捗が全く分からないので、動きようがない。 憤っています
審査中から動かず、ギャランティ支払いの目処がたたない
同時期に同じように申請した所が採択連絡があったが弊社は戻されました。その為、演者・スタッフ等を大幅に削減、広報も後手後手に廻らざるを得ませんでした。それによって追加公演を余儀なくされました。
2021年の事業として2公演を予定・申請しており、ひとつは9月に既に終了、もうひとつを12月に控えている。 助成の可否の連絡がそもそも2ヶ月以上遅かったため、概算払いの申請ができるタイミングがすでに限られていて、11月に支払われるとのことだった。 しかし、概算払いの請求書を提出するタイミングで団体の所在地を変更(引っ越し)する必要があったため、その旨をメールで連絡したところ、所在地変更手続きを先に行ってほしいと連絡があった。 それにもなって概算払いの振り込みが遅れる可能性があるとも記載があったので、至急手続きを行った。 最大どのくらい遅れるのかと問い合わせたところ「12月下旬になる可能性がある」との回答だった。 それでは概算払いどころか予定している事業を終了してしまい、すべての経費を自己資金と借入れでまかなわなくてはならなくなる、なんとか考慮してもらえないかとメールを送ったところ、返信が来なくなった。 採択総額は580万円で、9月公演の経費はすべて立て替え・支払いを待ってもらっている状況なのに加え、12月公演も立て替えと借入れ、支払い待ちをしてもらわなくてはならない状況で、多方面にご迷惑をおかけしてしまい、信用問題に関わってきてしまう。
採択結果の連絡が遅れているため、公演実施の決定をしかねてる。
一次にてなかなか結果が出ず不安な状態のまま公演製作に取りかからず得ず、その後なんとか採択されるも、9月の感染爆発、緊急事態宣言を受けて公演中止に。キャンセル事業に計画変更を提出するも、いまだに審査結果が届かないため、身動き取れず。各所の支払いを待ってもらったり、主催者が立て替えたりして凌いでいる状況。事業者を助けるための企画なのか苦しめるための企画なのか分からない。
一度修正依頼がきたが、謝礼の額が妥当じゃないとのことで、妥当と証明する資料を用意するか妥当な金額に下げると。妥当とは？審査を急いでほしいだったので単純に半分に下げた。そして、今現在審査がわからず、12月から始まる企画の準備に動けない部分が増えており企画中止を不本意ながら検討を始めた。ゲストなど各所に負担をかけている。スケジュールのかりおさえて。
3つの取り組みを申請して採択されたが、採択後のオリエンテーションで、ひとつでも取り組みを大幅に変更すると事業全体が、不採択になることもあると言われ、不採択が怖く、コロナで集客が見込めなくても無理やり計画通りの規模で実施したが、入場料収入が少なく、対象外経費の部分などで持ちだしがあり、かえって実施しない方がよかったと考えている。
AFFが通った場合と通らない場合、という択一によってモノゴトが大きく変わってきてしまう。 採択されても、予算規模が大きくなるので、仮払いの額が大きくなる。初めからわかっていたら問題にはならないが。

公演のいくつかは実施済、そしてこれからの公演も取り組み(チラシ作成等)は先に進めなければ成立しないので、すべて見切り発車で進行させました。これで不採択になったら完全に赤字覚悟の事業になります。
申請が通った場合、事後報告(支払い等)に時間がかかりそう。報告締め切りを伸ばして欲しい。
一次申請で採択されたため、現在、無事開催できている。ただし、審査の遅れによる心理的な負担は大きく、二次申請を検討していた複数の知り合いにその旨を伝えたところ、今回は申請を回避するとの声を複数聞いた。
不備連絡があり修正して申請したが、その後連絡がない。 支払いはしたが、次回公演の資金から回しているため、次の公演の支払いの目処が立たなくなっている。
常に不交付の場合を想定し、最良の選択をすることができず迷っている状態が続いている。
文化庁のせいで活動できなかった
申請から長い時が流れ、採択結果が来ないまま公演を行うしかない時期となってしまいました。結果を待っていた為、全てが後手に回っています。 不採択の結果になった場合、大負債です。
報告は終わり、修正も出したが2ヶ月連絡がない
AFF に関しては特になし
公演を2つとイベントを1つ中止にしないとだめになりましたが、スタッフや出演者へのギャラは発生するのでどうしようもない状況です。 それに伴い会社の来年の目処がたちません。
公演は予定通り行いましたが、赤字を主催が背負い、スタッフに支払いをしています。 まだ支払いが済んでいないスタッフもいますが、あまり遅らせるわけにもいかず、 少しずつ支払いっていますが、主宰の持ち出しです。 先行きが不安な状態なので、結果が早めにくることを望んでいます。
すでにコンサートの経費を自費で出費、このままでは申請以前より状況が悪化してしまいます。
採択されない場合を考慮して、演出面を縮小したり、自腹を覚悟したり、出演者にギャラを想定通り支払えないかもしれないと連絡したり・・・今回は採択されたから助かったが、採択されなかった場合は、負債を背負う結果になったでしょう。採択日は守っていただきたいと思います。
おそい
12月7日上演予定の採択の可否が届かず、これからキャンセルとなったとしても多額の負債が発生します こういった制度を設けていただき、文化庁に感謝しております。
採択結果が得られなければ実施できない企画について採択待ちになったため着手が遅れた
今年5月の公演開催でした。劇場費の一部、前金を昨年中に劇場に支払いましたが、その分は今回のAFFでは認められないとの事でした。金額的にも大きく、認めていただけたらと思います。
審査の遅れはもちろんだが、不備連絡の内容が余りにも適当。全く同じ構成で申請したのに、ある事業は修正なし、別の事業は要修正など、一定の基準で審査が行われているとは思えない。また、全く同時刻に再申請したのも、通知が来たものと来ないもので何週間も差がある。第1次募集の反省が全く活かされていない。
審査の結果を待ってられないので、ないものとしてチラシ作成などの準備を進めている。

9月と11月の舞踊公演に対して申請をし、一度差し戻しの後一ヶ月半経つが結果がまだの状況です。  
既に公演に関わってもらっている出演者やスタッフへのギャラが確定できないことで関係者に迷惑を掛けていること、それに付随する精神的ストレスを抱えたまま公演準備を進めることの苦痛がとても大きい。また、衣装や映像など、採択をされたらプラスアルファで取り入れようと考えていたものの予算規模の目処が立てられないために、規模を縮小せざるを得なくなった。

要項を満たしているはずの過去実績を認められない。任意団体であれば過去実績は主催でなくてもよいはずなのに、主催でなければならないというような指摘を受けた。何度か事務局にメールをして交渉したが、こちらの質問に十分こたえないまま質問を打ち切られた。しかも、後出しジャンケンでダメな条件が増え、困惑している。

公演本番期間後半によりやく交付通知が来ましたが、その時にはすでに予算を縮小していたため、この後の事業報告をどうすれば良いか途方に暮れています。

舞台芸術に関わる全ての人が苦しんでいるこの状況下で、劇場使用料はもちろんのこと、スタッフさんたちにはAFFが採択されることを想定して当初の予定通りのギャラを支払いたいと初めから思っていました。もし採択されなかったら自己負担で何とかしようと思っていたので採択自体はありがたいです。でもギャラ以外の、舞台装置、小道具、衣裳などについては大幅に削減しており、もっと早く採択されていればこんな苦労はしなくて良かったのにと情けなくなります。

実際に、ガイドラインが改定されたといっても一般のお客様には伝わっておらず、説明しても精神的な【劇場に対する恐怖感】は曖昧だからこそ払拭できるものではありません。2019年の集客に戻すことは今現在できていません。  
そんな中で、積極的な取組を条件に申請させたAFFです。

少なくとも申請から交付/不交付の結果は早く出して貰わないと身動き取れないですし、また事業報告完了後ではなく、事前に少なくとも半額程度の概算払いはあって然るべきです。

説明責任さえ果たしていない文化庁には不信感しかありません。

AFFは、採択されなくても公演できる大手の団体(事務所を含め)をターゲットにしたものなのですね。

1 終了公演の出演料などの支払いが滞っている

2 12月公演の支払いの目処が立たず、主催者の負債が大きい

自分が主催の企画、他団体の企画のサポートに入っているものがあります。  
前者は自腹で規模を縮小し実施することになりました。ここまで進めてきた企画をやめるのは参加アーティストに申し訳ないからです。結果的に負債を追うことになり、どこが支援なのかと思っています。  
また私は現代アートのフェスティバルの実行委員会に名を連ね、企画運営を実施してきましたが実績が認められないと指摘され差し戻されました。国内有数の、しかも文化庁の国際創造発信拠点の枠組みのスタッフであるにもかかわらずです。文化庁の主要事業のスタッフの実績が認められないのであれば、一体誰がプロと認められるのでしょうか。せめて文化庁事業関連の実勢を認めるくらいの専門性をVIPOスタッフには持っていてほしいと思います。

また現代アートや美術の複合分野は、企画趣旨の読み解きができないのか、周囲の申請者のほとんどが採択されていません。過去の実績でもチケット収入がなくとも作品販売や、協賛金の獲得でも認められるはずですが、多くが不適格と弾かれています。

あきらかに募集要項と違う審査が行われており、また要項が告知なしに変わっていることもあり、補助金事業の体をなしていないと思われます。

審査の迅速化、透明化、また実施期間の延期など今すぐ決定していただきたいです。

また本事業の遅れにより抱えた負債に関しての救済策の検討も急ぎ行なってほしいです。

次年度同様の枠組みがある場合は、スピーディーに審査が進むようにしていただきたいです。

また個人への給付型の支援も検討いただきたいです。

修正依頼の後にすぐ対応したもののその後は全く音沙汰も無く、ただただ月日が流れている。事業期間である年内の公演はすでにレッドラインを超え実現不可能となった。補助採択が出ないままでは事業計画の見通しも立たず、会場も演者もスケジュールをキャンセルすることとなってしまった。

公演の延期や中止を判断する材料として考えていたが、対応が遅過ぎて判断出来ず、最終的には、期日無しの延期とした。実質的には中止に限り無く近い。

10月に予定していた上演を大幅に縮小して上演しました。主宰の持ち出しとなりました。

11月、地方での写真展示と上映会を予定していますが、まだ決まりません。

採択が下りないので、開催について決まらないことも多く、地方の写真家のチームと揉めています。会場にも相談し、規模を縮小して決行することとなり、飛行機も予約しましたが、採択はまだです。

12月もイベントを予定していますが、開催できるのかどうかとても不安です。

公演二週目にしてやっと採択報告が来ました制作者心労はトラウマ級です。今でも切ない。そして採択されないなか、金銭面で不本意な選択をしていました。出演者にギャラなし(あるいは手弁当)で公演実施を交渉し始めた時は、自分でも「気が狂ってる」と思いました。

でも、途中でやめるわけにはいかなかった。バクチ感がすごかった。採択された今でも笑い話になりません。。

公演は終了したものの役者、スタッフにまだ支払いが済んでいない。

我々の団体は二次の×切時間間近(30分前ほど)に申請しましたが10月中に交付決定の連絡が来ました。

正直なところシステムや書類に問題があるとは思えません。多少分かりにくい点や、あえてぼかしている点があることは否めませんが。

我々の場合でしかないのですが、些細な問題でもつつかれるという感覚はありません。

報告書類作成時に自分達で見直したところ我々の申請の中でも多少不明瞭な点があるまま申請していましたが交付決定となっています。

通っているから言えることだというのは承知の上ですが状況から察するに交付決定に値する書類を作成できる芸術団体が少ないのも事実だと感じています。

現時点で確認作業が予定通り一巡しているのは発表もあった通りだと思います。

また、演劇緊急支援プロジェクト様のTwitterでの発言には少し問題があるように感じます。

発言の意図については理解させて頂いているつもりですが、事務局側がわざわざ差し戻しが多いという声明を出している

以上、芸術関係者側にも大きな問題があると考えたべきではないでしょうか。  
特に Amazon のスペルミスの発言に関してですが、金銭の授受が発生する書類である限り全く些細な問題では無いと感じています。スペルが違えば別の会社になってしまいますので。

様々な協会や著名な賛同者様がいるプロジェクトの公式 Twitter にも関わらず、事務局や文化庁に対しての抗議色が強くなってきているのは問題ではないでしょうか？

AFF 自体はあくまでも助成、補助の位置付けだと思いますので、そこに頼りその影響で公演に支障が出ているのは団体側にも大きく問題があるのでは無いでしょうか。

今後の発展の為に活動を各々が自発的に行い、そこに対しての助力を国に求めるのは理解できます。  
しかし、現状の Twitter を見ていると AFF 頼りの企画や活動が散見されるのも事実です。

困っている芸術家の声を届けていただけるのは大変有り難いことですが、それと同時に業界としての問題や足を引っ張りかねない同業者に対しての問題提起も必要なのではないのでしょうか？

演劇緊急支援プロジェクト様の Twitter ではどこかに肩入れすることなく公平な発言を求めます。

マスク等の着用のままのライブや舞台の表現には限界がある為、公演そのものを実行するのは困難です。マスクしたままの激しい動きは不可能です。

ひとつの不備があると、なかなか連絡が来ないのでちゃんと届いているか不安になる。

事前に事務局に確認した事項を理由に不採択となりました。

事務局と審査が別なのか計画内容についても理解が異なっていたため、申請前は問題ないと言われたのに、補助事業非対象との修正依頼あり。アートが解る審査人材にしないと結局は繋がりや大手が強く、今後も期待できないのではないのでしょうか。本当にアートが必要な社会になる事を理解できず、ジリ貧の日本市場や搾取業界により、衰退していくのが残念。

今年前半に終了済みの公演について申請。10月に交付決定はされたものの、交付決定まで待ってもらっていた支払いがまだ100万円以上あり、どう資金繰りするか思案中。

概算払いは二次募集に無いようで、あったとしても一次の際の様に2ヶ月程度審査にかかる様では意味がない。

これから交付決定された団体が年内に公演などを実地して、実績報告までするのかと思うとかなり壮絶な状況になるのではないかと思います。

やはり、実地を年内でなく年度内に変更していただけないものか。

せめて実績報告だけでも。

第二次初日に申請したが採択まで2ヶ月かかり、支払いがいつになるかもわからない。

特にありません

一次の結果が遅れたため、

仕込費の見極めが難しかったです。

そのため、スタッフに過度な仕事をお願いすることになってしまいました。

担当者によって回答が違い、混乱しました。

カスタマーセンターに電話やメールで問い合わせをしても、担当者によって回答が異なっているので、何を基準に考えればいいのか分からない。また、後出しのような形で申請や報告の手引きや Q&A 等の改定や追加を行うので、実際に実績報告を行った際に減額や補助対象となる可能性が出てくるのではないかと不安に感じている。

映画製作の費用を申請していましたが  
審査が遅れたことにより納期に間に合わなくなってしまった為、審査結果に関わらず辞退せざるを得なくなりました。

申請した公演については、すでに実施済みであり、急ぎ支払わなければならない会場費等は支払ったが、スタッフ、関係者への支払いは待っていただいている状況となっている。

主催者要件の緩和について、説明会では「必ずしも主催の経験が無くとも良い」と緩和されたと聞いたが、また初回と同じように「主催歴が分かる資料」の提出を求められた。団体としての共同プロデュース歴、他社主催による団体名を冠した公演、主宰者の過去に携わった公演などかなりの資料を提出したが、結局認められないのでしょうか、、、。継続的に活動してきているという実体が必要、という意図での要件のはずなのに、その実体が言葉一つで認められないことに、大きな疑問を感じます。半ば諦めながら、赤字・負債と向き合う日々です。

事業終了後に日程に関する計画変更が必要になり行ったが 2ヶ月以上が経つが一切連絡が無い。  
事業にかかった費用を立て替えている為生活が苦しめられ追い詰められている。

大きいものとしては、  
過去に中止となった公演の支払いが未払いである点  
採択されるかどうか不明なことから、今秋上演した作品は想定より全体的に小規模にせざるを得なかった点  
の 2 点

システムエラー多発や必要データの数と添付ファイル登録項目が合致していない

開催できるかの判断ができかねる。  
年内の催事を対象としているのに、審査が遅すぎる。  
出演者のスケジュールやホールまでおさえているのに、キャンセル料が発生するまで審査がおりないのは無責任であり、コールセンターの対応もかなり悪い。

今年の公演を中止、来年度に延期した。  
現状、キャンセルした際のスタッフへの補填などを AFF でまかなう予定で待ってもらって居るが、何名か「これ以上遅いのは困る」と連絡があり、制作が自己負担して支払った。  
延期日程が来年度の初当なので、早めに支払いを済ませ、延期公演の打ち合わせを行いたいが、未払いが有る状態では声がかげづらいのもある。  
ここまで遅れると早い審査だけではなく、素早い支払いも必要である。

12 月末の期限で、11 月に入っても結果が出ないのには...これで支援しているとは思えません。あと、マニュアルの収支計画書を貼るのか貼らないのかわかりづらすぎました。わざわざ作ったのに貼らなくて良いと書いてあったのに、あとから貼るよにと。きちんと一貫した記述をしてほしい。結局、取り下げにならざるをえない状況にまで追い込まれています。ぜひとも実施期間延長をお願いします。せめて来年 3 月まで。

実績報告を出して 2ヶ月半経ちました。その間に 2 回修正依頼が届きましたが、最終審査に回されたと聞きましたが一向に何の連絡もありません。

未だ連絡がないため、規模を大幅縮小した

募集開始と事業締め切りの期間が短く、採択結果連絡が事業進行に対して遅すぎる。見切り発車で発注を始めスケジュールの押さえや納品を、開催日直前にキャンセルすることとなり各所に迷惑をかけてしまった。

出演者には、AFFの結果次第では開催中止もあると事前に伝えるものの、主催者への不信感が生まれてしまった。

補助対象となる取組とならない取組があると連絡を受けたが、その理由については答えてもらえない。公演後ずいぶん経ってからやっと採択(一部)の通知が来た。遅すぎる。

修正後、何の連絡もない。既に11月半ばの為、12月31日までに予定の規模のイベント開催は難しい。

本番2週間前になって不交付通知が来ました。公演に向けて滞在制作等行った後だったので、それまでにかかった経費は全て赤字となりました。もっと早く審査が進めば、赤字は最小限に抑えられたと思います。今後の活動も制限せざるを得ない状況です。

各社お願いしている業者、会場含めてどうなるか？との対応に追われている。今回の審査の回答が遅い事で今後の公演含めて予定が大幅に狂い、また信用問題につながってしまっている。

残り1ヶ月足らずで600万円規模の公演や事業を行うのは非常に困難です。

「やる事を前提に」という言い分もあるかも知れませんが、それならば最初から「事業を行った事業者向け支援」で打ち出すべきではなかったのでしょうか。

この補助金があるからこそ今年の事業を計画した事業者も多いと思います。

また、申し上げました通りいま採択されたとしても1ヶ月足らずで600万円規模というのはかなり無理をする事になりますし、見通しがつかないのであれば規模を縮小し200万円規模等にならざるを得ません。

手持ちの予算の都合もごさいます。

①採択された場合

②不採択だった場合

の2プランで動いており、これも非常に手間を時間を要しておりますしキャストおよび関係者へも迷惑をかけております。

団体の信用問題にも繋がる恐れがございます。

次に映画製作事業の場合、映倫審査も年内に終わるか不明瞭です。

そうなると年内の請求ではないので補助対象にならず持ち出しになります。

ただでさえ、映画製作事業については舞台と違い

「広告宣伝費」「劇場費」は補助の対象になっておりません。

舞台や音楽活動であれば「広告宣伝費」「劇場費」は対象になるのですが、

圧倒的にチケット代の安い映画製作事業の方が出ない理由が本当にわかりません。

スポンサーありきで考えているのでしょうか。

映画製作事業にも「広告宣伝費」「劇場費」を補助対象として頂けるよう強く願います。  
また、映倫審査代についても期間外であっても補助対象にして頂きたく存じます。

不備が多くて...との事でしたが、  
前回も不備は多くあったかと存じます。  
それならば以前のお知らせにもありました  
「2次募集に向けて改善して参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。」  
のお言葉通りであるならば、【不備が多かった場合の対応方法】までしっかりと改善した上での2次募集が必要だったのではないのでしょうか。

差し戻しは後回しのようですが、  
差し戻し専用の部署がなぜないのか？  
また、不備が多くなったきた時点で差し戻し専用部署の新規設立をなぜ行わないのでしょうか。

他にもせっかくお知らせの欄があるのに  
2次は概算払いがない旨を何故そこにも記載しなかったのでしょうか。

募集要項の概算払いの記載も削除すべきだったと思います。  
色々と申し上げましたが、今回の政策につきましては大変感謝しております。  
しかしながら、かなりの事業者が苦しんでおりますので終了期間の延長を強く熱望いたします。  
それだけでかなり楽になります。  
採択された団体が600万円使い切れずに予算が余ったなどという事になると  
不採択された団体が報われませんので英断をお願い致します。

回答が遅かったので、バタバタで準備しています。

一次で不採択、二次で問題点を解消した上で提出。→キャンセル公演の書き方に一部不備があり再提出→2ヶ月経ちますが音沙汰がありません。12月にあと2公演控えていますがこのままだとお金の目処が立たずまた公演代のみ総て自腹で支払い借金が増えるだけになります。

AFFの事情で二次募集が遅れたにも関わらず、10月末に採択決定の連絡がきた際には概算払いが説明も無しに無いことになっていたため、金銭的負担と支払いスケジュールの見直しが必要になった。せめて一言説明が欲しかった。

審査の連絡が一向に届かない

審査が遅い。不交付理由が不透明、理不尽である。対応に誠実さが全く感じられない。

規模を縮小したが、いつ支払われるのかわからず日々苦しい。

公演終わりましたが仮払い金も11月末に振り込みますとの事。直接経費は現金がほとんど。他の人たちへの支払いも貯金切り崩して支払いました。

しかも、1/4の支払いは全て報告終わってから――これではかえって借金増やすようなもの。苦しいです。

いつまた緊急事態になるかという不安があるため上演の依頼がなかなかない。

ない。

<p>自身は早目に採択頂いたが全体的な遅さは一次申請の時から改善されてないと強く思います。</p>
<p>審査の遅れにより、申請確定が出ないのに企画を進めなくてはいけないこと。結果が出たとしても、すぐに動かなくてはいけないため、制作負担が過大になり、そこをフォローするために結果的に当初予算をオーバーしてしまう。また、結果が出ていないのに、公演の準備のため経費はどんどん派生。その精神的な負担は大きく、情緒不安、不眠、イライラ、など体調まで悪化した。</p>
<p>コールセンターに質問の電話をかけた際、同じ内容の質問でも相手によっては回答が異なる。後程、修正を要求されて時間がかかっては困るので、何度も同じ質問をした。それでも、どの回答が正しいのかよくわからないまま、申請した。案の定、修正を要求された。</p>
<p>ギリギリの採択で対応に大あらかわ、ちゃんと実施できるか不安</p>
<p>事業実施に踏み切ったが、不採択の場合金銭的な負担が大きく今後の活動に支障をきたす恐れがある。</p>
<p>採択が遅れているが、劇場はおさえているので、やる事は変えられません。例え AFF が採択されずとも公演はやらざるを得ません。どちらにせよ赤字です。早ければ対処できたこともできません。しかしやります。矛盾と戦うしかありません。</p>
<p>12 月前半の公演なのに連絡が来ない為、仮の日程で公演日を決めるしかなく、その後採択されたが、その為に追加公演の設定、チラシの再作成など、せざるをえなかった。 また、その分宣伝も遅くなった為、集客が減る可能性が出てきている。 さらに充実支援で本来より少し多めに予算組みができるはずの助成なのに、概算払いがない為、結局、規模の縮小や、借金をせざるを得ない状況にさせられている。 せめて、実績報告後の支払いは早急にして欲しい。</p>
<p>映画製作において 11 月末までに撮影、12 月末までに仕上げる必要があるのに 11 月中旬未だ結果が出ない。全てを撮り切った後で不採択になる＝負債をかかえることになる。</p>
<p>7 の通り、不備連絡に対応したが、システム上で修正すらできない状況に困っている。 また、告知期限の目安と本当の審査結果の告知期限が異なりすぎて、計画の目処が立たない。 また、2 次募集の場合、実施期限が 12/31 で、年末開催を避けて中旬に開催の場合、広報や出演者のスケジュール、準備物、購入物、レンタルの手配などの準備期間を考慮すると、あまりに審査の告知が遅すぎる。  せめて、いつに発表すると宣言して、それを守ってほしい。特に 2 次募集の申し込み殺到は、1 次をふまえて予測できたはずです。</p>
<p>申請開始直後に申請し、不備もなく、約一か月遅れて採択されたが、結果通知が遅れた理由など、審査基準、方法、順番、などについて、事務局の説明に透明性を欠くこと。</p>
<p>一次募集の時に、ストレスで具合が悪くなった。</p>
<p>計画中には地方公演もあり採択の結果をまって催行判断をしようと思い航空券やホテルの手配をペンディングしました。しかし結果が出なくても催行するしかないと思ったらどんどん値上がり、予定した金額より遥かに高くなってしまいました。出演者のギャラを減らして対応するしかなくかなり厳しい状況です。もっと進行状況を共有してほしいです。ステータスがずっと申請中のままで 2 ヶ月以上何のアクションも無いままは毎日が不安で眠れなくてストレスで髪も抜けてきました。本当にお願いします！</p>
<p>とにかく、早く結果を教えて欲しい。それと実施期間を 3 月までとかに延長して欲しい。</p>

宣伝、稽古開始、出演者へのオファーなど少しずつのスケジュールが遅れ、その影響で安価な稽古場の確保が難しく、出費が増えました

また、概算払いがない中、金融機関への融資相談できる時期を外してしまい、新たな融資先を探すこととなり、不足分、主宰の持ち出し金額がかさんでおります。

こちらの要望で差し戻した場合も後回し、主な内容ごとに振り分けて順番と言いつつ、それでは数の少ないところが先に決まって有利なのでは？等、不明点が多すぎる。

ギャラの支払いができない。

担当者による基準のばらつき。不備指摘の誤り。締め切りを守れなかった一次での対応の遅れについて、根本的な改善が無い。

10月第1週目に採択されていても、12月末までに全ての支払いが終わらなければならない。22年1月10日までの事業報告を義務づけられているが、最後の催事の終演日は12月30日。10日ほどで清算手続きをしなければならず、支払いの完了も大変である。事業報告+清算手続きは、せめて事業終了後30日以内としてほしい。

募集開始日に即エントリーし、修正箇所なく助成金が降りたが、それでも結果まで1ヶ月以上かかったため、規模を縮小する形となった

9月の申請で、12月末までという活動期間にはムリがあり、今はかなりタイトなスケジュールになっていて激務です。2次が悪いというより、そもそも1次の手際の悪さ、審査の不透明さ、2次の公募開始時期の遅れなどがみんな半信半疑になってしまい、消極的になったり、審査待ちのストレスなどで苦しんでいる人も多いと考えます。

開催地の予約や出演者の予定が埋まるたびに、計画変更に係る打ち合わせや下見が発生しているため、人件費や交通費、通信費が当初見込んでいたよりも増大している。

一部の関係者には予定を仮抑えしてもらっているが、これ以上引き伸ばした上で不採択になった場合、信用を失い、今後の公演の開催にさえ差し支える。

追い込まれている事業者の存続を支援することが助成金の本来の目的のはずですが、現状の制度だと、助成金に頼らずとも公演等を実施できる体力のある事業者しか、予定通りの演目を実施できない。年度内への事業期間の延長が必須です。